

2. <u>ダイズうどんこ病</u> に対する品種・系統の耐病性（情報）			
[要約] ダイズに発生した <u>うどんこ病菌</u> は <u><i>Oidium</i> sp.</u> で、トヨシロメなどは耐病性であるが、銀大豆、青大豆、黒大豆（小粒）などは弱い。			
研究室名	病虫研究室	連絡先	0869-55-0543

## [背景・ねらい]

平成 12 年 10 月に県北部で発生したダイズうどんこ病の病原菌の同定を行うとともに、本病菌に対する大豆の品種・系統及びマメ科植物の耐病性を検討する。

## [成果の概要・特徴]

1. 発生圃場では青大豆、黒大豆（小粒）に多発していた。これらの葉、葉柄、茎及び莢が発病し、白い粉をふりまいたような典型的なうどんこ病の病徴を示していた（図）。
2. 病原菌の形態観察を行った結果、うどんこ病菌の一種で *Erysiphe polygoni* 型の *Oidium* sp. と同定された。
3. ダイズの 44 品種・系統に本病菌を接種すると、青大豆、黒大豆（小粒）や銀大豆などが多発生、タマホマレ、サチユタカ、フクユタカ、黒大豆（丹波黒）などが中発生、トヨシロメ、スズオトメなどが少発生であった（表）。
4. マメ科植物では、エンドウ、ルピナスに発病し、インゲンマメ、ソラマメ、ササゲは発病しなかった。エンドウ、ルピナスの発病程度は青大豆に比べて低かった。

以上の結果から、本県で初確認されたダイズうどんこ病に対して、トヨシロメなどは耐病性であるが、青大豆、黒大豆（小粒）と銀大豆などは弱い。

## [成果の活用面・留意点]

1. 本病菌には病原性が異なるレースの存在が示唆されており、レースによっては品種・系統の発病程度が異なる可能性がある。

[具体的データ]



図 ダイズうどんこ病の病徴

表 ダイズうどんこ病に対する品種・系統の発病程度

発病程度	品種名	系統名
多	銀大豆 青大豆（在来）、黒大豆（在来） アキヨシ、ヒュウガ、白豆（在来）、 Harosoy	九系295号、九系281号、九系275号、 九系272号、東山195号、東山系U155、 東山系U844
中	タマホマレ、フクユタカ、さやなみ、 サチユタカ 黒大豆（丹波） 十勝長葉	九系303号、九系293号、九系282号、 九系294号、東山187号、東山系U314、 東山系U289、東山系U994、東山系U892、 東山系U888、東山系U813
少	納豆小粒、コスズ、トヨシロメ、 奥羽13号	九系261、九系297号、九系296号、 九系291号、九系264号、九系263号、 東山197号、東山188号、刈系637号
微	スズオトメ	
無		

注) 本葉5～7葉期の下位葉を調査した。発病程度の基準は以下の通り。

「多」：葉表全面が灰白色病斑で覆われ、枯死葉がある

「中」：葉表全面が灰白色病斑で覆われる

「少」：葉表面に灰白色病斑が点々とみえる

「微」：葉表面に灰白色病斑、裏面にわずかな褐変がみえる

「無」：病斑がみられない

[その他]

試験研究課題・事業名：病害虫・生育障害の診断と対策指導

予算区分：県単

研究期間：平成12～13年度

関連情報等：九州病害虫研究会報46：22～26（2000）